

RI第2620地区 静岡第3分区

## 沼津柿田川ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

RI会長 K. R. ラビラビンドラン  
 RI第2620地区ガバナー 野口 英一  
 会長 梅田 欣一  
 幹事 小川 隆洋  
 例会日時 毎週月曜日 12:30点鐘  
 例会場 沼津卸商社センター 2F  
 〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203  
 TEL 055-971-6500  
 事務局 〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方  
 TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322  
 E-MAIL officework@rcj-nk.org

## 会長挨拶

第1600回例会 会長挨拶

会長 梅田欣一

だいぶ、暑くなってきましたが、みなさん、いかがお過ごしでしょうか。

前回の夜間例会では、熊本地震のために、合計7万円という多額の寄付をいただきまして、ありがとうございます。

本日は、年に一度の米山記念館での例会です。本日の卓話は、積惟貞パストガバナーにお願いしてありますが、すでに原稿をいただいております。米山梅吉翁の少年時代のお話しをしていただけたとのこと。積先生、宜しくお願ひ致します。

さて、一昨日の5月17日にショッキングな出来事がありました。その日は、朝一で東京出張でして、昼頃に事務所に戻ってきたのですが、突然、OSがウインドウズ10にアップグレードされていました。

ウインドウズ10への無料アップグレード期間が2016年7月28日までということになっているようですが、あまりにも強引な感じがします。

私は、基本的にパソコンのことは前田さんの会社にお任せしているので、前田さんのゴーサインがでなければ、ウインドウズ7のままで使い続けようと思っていました。というのは、OSだけアップグレードした方がいいけど、他のアプリケーションがそのOSに対応していないと、突然使えなくなったりして不便になるからです。一ヶ月間はダウングレードして元に戻すことは出来るらしいですが、もういいやと思い、諦めてウインドウズ10を使うことにしました。

ただ、最初は、PDFが開けなかったり、今までと使い勝手が違ってしまったりしました。これらは、インターネットにあがっているマニュアルなどを確認して対処することにしました。

ただ、ウインドウズ10の恩恵を受けようと思っている件もあります。今年の9月に裁判員裁判があるのですが、記録の量が半端なく多いのです。それらをすべて持ち歩くことはとてもできないので、タブレットにもなるノートパソコンを1台買おうと思っています。iPadも持っているのですが、iTunesというアプリケーションを経なければ、パソコンとのデータのやりとりができず不便なので、ウインドウズ10がOSのものを一つ欲しいと思っています。現在、普通のノートパソコンも持っているのですが、最近、老眼が進んできて、手で大きくして見たいという要請が強いので、タブレット型が欲しいと思っている次第です。

また、分からないことがあったら、前田さんに教えてもらおうと思います。

以上、私のパソコン事情でした。失礼しました。

## 幹事報告

## ■ 事務連絡 ■

\*ガバナー事務所より

ガバナー月信5月号 到着

\*ロータリーの友事務所より

ロータリーの友5月号 到着

## ■ 例会変更 ■

\*富士宮西ロータリークラブ

6月24日(金)→夜間例会

\*新富士ロータリークラブ

6月28日(火)→6月25日(土) 夜間例会

## ■ 週報到着 ■

富士山吉原RC・沼津RC・富士宮西RC

## 本日のゲスト・ビジター

ゲスト 沼津RC 積惟貞パストガバナー  
 ビジターはありませんでした。

## スマイル報告

中田 真 ロータリー財団へ。  
 小早川すみゑ ロータリー財団へ。  
 梅田欣一 積先生宜しくお願ひします。  
 小川隆洋 積先生宜しくお願ひします。

## 卓話

本日は、積惟貞パストガバナーに米山梅吉の少年時代についてお話しいただきました。ありがとうございました。



米山梅吉の少年時代

積 惟貞パストガバナー(沼津RC)

梅吉は江戸が東京になった明治元年(1868年)大和高取藩江戸詰めの藩士、和田竹造の3男として芝田村町に生まれました。4再の時、父を失った梅吉は母方の実家でもある三島に家族とともに移り住みました。梅吉は幼児から神童の誉れ高い英才で、兄の栄次郎が助教として働いた納米里の「映雪舎」に7歳で入学しました。これは普向寺という曾洞宗の寺に設立された長泉町最初の小学校であります。校長の久我頑量は漢籍に秀でた僧侶で早くから梅吉の才能を認め、熱心に指導したようです。

このころ納米里の隣村上土狩の大名主米山藤三郎の目に留まり、梅吉を養子にと望みました。明治7年に生まれたばかりの「はる」(後の春子夫人)と娶らせる気持ちもあったと思われる。

映雪舎を卒業した梅吉は明治14年(1881年)沼津中学に進みました。長泉から約8キロの道を毎日歩いて通ったと言います。沼津中学は前身を沼津兵学校といい、徳川慶喜が大政奉還して駿府に隠棲した際に、多くの幕臣がこの地に移り住んでいたため、その子弟の教育のために作られたものです。勝海舟、江川太郎左衛門らの肝いりで西洋文化を取り入れた教育を目指し沼津に作られた私学ですが、梅吉はここに関わりを持った誇りを込めて「幕末西洋文化と沼津兵学校」の著書を遺しています。

初代校長はオランダ帰りの西周、儒学、蘭学に秀で明治3年には兵部省に出仕、山県有朋らと日本陸軍の基礎を作りました。明治3年西周が東京に移り、兵学校を閉校となりましたが、後進としてそのあとが沼津中学校となり、梅吉は明治14年13歳で入学しました。当時の校長は江原素六。著名なクリスチャン教育者で、英和学園、麻布中学(麻布学園)の創設者でもあります。

また、教頭の明和謙次は漢籍に秀で、その著作も多い優秀

な教育者であり、この沼津中学で梅吉は文藻に更なる磨きがかかりました。ここで梅吉は弁論を好み、また自分で文学誌などを作り閲覧したりしていましたが、東京で発行されていた「穎才新誌」にもしばしば投稿し、夏目金之助(漱石)と並んで梅吉の作品が多く取り上げられたと言います。この時代は政治的気運が各地で盛り上がり、沼津にも多くの弁者が演説にきて、若い梅吉も触発され、地元の沼津新聞などに政治論評を掲載して気を吐いていました。

静岡に土井光華が主筆の「東海暁鐘新報」という新聞があり、この影響もあって梅吉がのちに東京に出奔した際、まずこの書生として草鞋を脱ぐこととなります。沼津中学の卒業を待つことなく、明治16年12月に親友稲村と図り単独で上京。丸三日を徒歩で箱根を越え、横浜から汽車で新橋に向かいました。光華のもとから銀座江南学校に通う事になった梅吉は、ここで井上馨の娘婿の藤田四郎と出会います。この縁で後に三井銀行に入社することになります。

渡米を夢見て東京英和学校、銀座の福音会英語学校を経て正式に米山家に入籍し、20歳で念願の渡米を果たしました。それにしても梅吉の周囲には常に良き友、良き師が存在し、梅吉自身もそれらの人たちにこよなく愛される、類まれな品格を幼い時から身に付けていたように思います。



お礼は、積様より米山梅吉記念館へ  
寄付されました。



## ◆次例会プログラム◆ ガバナー補佐期末訪問

### 出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席計算に 用いた出席者	出席率	4月24日 修正出席率
21名	19名	14名	73.68%	61.11%

出席：古泉・太田・原・菊地・梅田・濱田 他 計14名

欠席：野口・前田・山本・徳山・坪内 計5名

MU: 計0名